

問1	奥州藤原氏が拠点とした平泉に建立され、建物全体が金箔で覆われ、内部の祭壇や仏像が豪華に装飾されている、当時の東北地方の経済力と高い文化水準を象徴する建物の名称を選びなさい。 （2024年 静岡県公立入試 類似）			
	1. 平等院鳳凰堂	2. 鹿苑寺金閣	3. 中尊寺金色堂	4. 厳島神社
問2	平清盛は、娘の徳子を高倉天皇に嫁がせ、その間に生まれた子供を天皇として即位させることで権力を確立しました。この時、清盛が「外戚」という立場で後見した天皇は誰ですか。 （2021年 福岡県公立入試 類似）			
	1. 安徳天皇	2. 崇徳天皇	3. 白河天皇	4. 後醍醐天皇
問3	11世紀後半から12世紀後半にかけて、現在の岩手県にある平泉を拠点とし、独自の行政と豊かな文化を築いて東北地方を広く支配した勢力の名称として正しいものを選びなさい。 （2024年 静岡県公立入試 類似）			
	1. 鎌倉北条氏	2. 奥州藤原氏	3. 伊達氏	4. 多賀城の国司
問4	平清盛が推進した日宋貿易は、当時の日本の経済に大きな変化をもたらしました。宋から輸入され、後の日本国内における貨幣経済の普及に決定的な役割を果たしたものは何ですか。 （2022年 香川県公立入試 類似）			
	1. 生糸	2. 鉄砲	3. 宋銭（銅銭）	4. 銀
問5	7世紀の聖徳太子による十七条の憲法の制定や、8世紀の『万葉集』の編纂が行われた後の時代において、最澄が唐から帰国して天台宗を開いた時期の説明として正しいものはどれですか。 （2019年 島根県公立入試 類似）			
	1. 鎌倉時代にあたり、新しい仏教が次々と誕生した13世紀以降の時期である	2. 奈良時代にあたり、防人の歌が『万葉集』に収められた時期と重なる	3. 平安時代の初期にあたり、武家による法が整備された13世紀よりは前の時期である	4. 飛鳥時代にあたり、遣隋使が派遣された7世紀の直後の時期である
問6	白村江の戦いから唐の滅亡までの時期にあたる8世紀末から10世紀初頭にかけて、日本の仏教は大きな転換期を迎えました。空海がこの時期に唐から持ち帰り、高野山を拠点に体系化した教えや、その修行の場所に関する説明として正しいものを次の中から選びなさい。 （2017年 神奈川県公立入試 類似）			
	1. 念仏を唱えれば救われると説き、庶民の間に浄土宗を広めた。	2. 密教の教えに基づき、高野山に金剛峯寺を建てて真言宗を確立した。	3. 法華経を重んじ、比叡山に延暦寺を建てて天台宗を確立した。	4. 座禅によって自ら悟りを開くことを説き、建仁寺を拠点とした。
問7	平安時代中期に栄えた「国風文化」の説明として最も適切なものを、次のうちから1つ選びなさい。 （2025年 熊本県公立入試 類似）			
	1. 武士の精神と禅宗の影響が結びつき、質素で深みのある美しさを表現した文化	2. ヨーロッパとの貿易を通じて、キリスト教や油絵などの西洋技術を取り入れた文化	3. 聖武天皇の時代を中心に、仏教の影響を強く受けて唐の文化を取り入れた文化	4. 中国文化の影響を受けつつも、日本人の生活や感情に合わせて発展した文化
問8	11世紀半ばの日本では、仏教の教えが衰える時代が来るとする末法思想が広まり、死後に極楽浄土へ生まれ変わることを願う信仰が盛んになりました。この信仰に基づき、時の摂政・関白であった人物が宇治に建立し、阿弥陀如来像を安置した建築物を次から選びなさい。 （2018年 群馬県公立入試 類似）			
	1. 伊勢神宮	2. 平等院鳳凰堂	3. 唐招提寺	4. 日光東照宮
問9	平安時代中期、遣唐使の廃止などを背景に日本独自の「国風文化」が栄えました。この時期、醍醐天皇の命によって編纂された、日本で最初の勅撰和歌集は何ですか。 （2022年 三重県公立入試 類似）			
	1. 万葉集	2. 古今和歌集	3. 新古今和歌集	4. 日本書紀
問10	平安時代、それまでの大陸文化の影響を強く受けた文化から、日本の風土や生活に合わせた独自の文化が発達した背景として、最も適切な説明はどれか。 （2020年 埼玉県公立入試 類似）			
	1. 足利義満が金閣を建てたことで、公家文化と武家文化が融合し始めたこと	2. 菅原道真の建議によって遣唐使が廃止され、大陸との公的な交流が途絶えたこと	3. 平清盛によって日宋貿易が盛んになり、宋の新しい文化が庶民にまで広まったこと	4. 鉄砲の伝来やキリスト教の布教とともに、ヨーロッパの新しい知識が伝わったこと
問11	平安時代末期、現在の岩手県にある平泉を拠点として、東北地方で約100年にわたり強大な勢力を誇り、中尊寺金色堂などの華やかな文化を築いた一族として正しいものを選びなさい。 （2021年 岡山県公立入試 類似）			
	1. 奥州藤原氏	2. 北条氏	3. 源氏	4. 平氏
問12	平安時代中期、社会への不安が高まる中で、阿弥陀如来を信仰し、死後に極楽浄土へ生まれ変わることを願う信仰が貴族から庶民へと広がりました。この信仰を何といいますか。 （2019年 熊本県公立入試 類似）			
	1. 真言宗	2. 禅宗	3. 浄土信仰	4. 法華信仰
問13	平安時代に、日本の自然環境や当時の支配階層の生活スタイルに合わせて発展した住居のあり方について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。 （2016年 京都府公立入試 類似）			
	1. 町人が中心となって、通りに面した間口が狭く奥行きが深い町屋が普及した。	2. 貴族が住んだ寝殿造は、池のある庭園に面した開放的な邸宅であった。	3. 武士が住んだ書院造は、畳を敷き詰め床の間を設けた邸宅であった。	4. 農民の住居として、防寒を重視した竪穴住居が依然として主流であった。
問14	平清盛が最高官職に就任したのち、さらに強力な政治的権限を獲得するために用いた手法の説明として、最も適切なものはどれですか。 （2026年 徳島県公立入試 類似）			
	1. 征夷大將軍の称号を得て独自の武家政権を樹立した。	2. 自分の娘を天皇のきさきにし、天皇家の親戚となることで権力を強めた。	3. 院政を行う上皇を排除し、すべての貴族を自らの家臣にした。	4. 全国の地頭から年貢を徴収する権利を独占し、経済的基盤を固めた。